平成22年3月31日
水　　産　　庁

水産物の市況について（平成２２年３月及び４月）

―東京都中央卸売市場における平成22年3月（平成22年2月21日～3月20日集計）の市況と、
平成22年4月の市況見通し（前月との比較）―

Ⅰ　平成22年3月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月と比べやや減少となり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）はやや強含みに推移しました。

Ⅱ　平成22年4月の主要品目の市況見通し

「まいわし（生鮮品）」
入荷量は前月と比べるとやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。（全体的に低調）

「さけ・ます（塩蔵品・冷凍品）」
入荷量は原料が若干増加するものの製品はやや減少し、全体的に見ると前月並みと見込まれ、卸売価格も横ばいに推移すると見込まれます。（今後、国内養殖の銀サケの入荷が徐々に増加してくる見込み）

「さ　ば（生鮮品）」
入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格も横ばいに推移すると見込まれます。（主漁場は駿河湾から伊豆諸島周辺（ゴマサバ主体）、山陰沿岸、九州沖合海域。）

「するめいか（生鮮品・冷凍品）」
入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。（4月頃まで端境期であり、生鮮品は品薄状態であるため冷凍品の入荷が増加する見込み）

「あ　じ（生鮮品）」
入荷量は前月と比べるとやや増加すると見込まれるものの、卸売価格は需要期に入りつつあることや今まで少なかったことから横ばいに推移すると見込まれます。

「まぐろ（冷凍品）」
入荷量はメバチを主体に前月と比べやや増加すると見込まれるものの、卸売価格は4月に需要期を迎えることもあり横ばいに推移すると見込まれます。

「かつお（生鮮品）」
入荷量は先月と比べるとかなり増加すると見込まれるものの、卸売価格は新物需要や品質が良くなったことから横ばいに推移すると見込まれます。

凡例（目安）

増減率	入荷量	卸売価格
0～ 2 %	並み	横ばい
3～10	やや増加（減少）	やや強（弱）含み
11～20	増加（減少）	強（弱）含み
21～51	かなり増加（減少）	かなり強（弱）含み
51～	大幅に増加（減少）	―

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格（概数）

（単位：千トン、円／kg）

	３ 月		前　　月		前　々　月	
	入荷量	価　格	入荷量	価　格	入荷量	価　格
22年	50	788	53	760	52	915
前年	46	774	51	773	50	916

注1：入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。
　2：入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主　要　品　目　の　価　格

（単位：円／kg、％）

	東京都中央卸売市場卸売価格（概数）			
	３ 月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし（生鮮品）	327	66	34	36
さけ・ます（平均）	623	97	103	103
（ぎんざけ塩蔵品）	683	100	101	106
（あきさけ塩蔵品）	368	100	86	107
（ときさけ塩蔵品）	840	100	121	122
（べにざけ塩蔵品）	1，000	100	110	110
（さけ類冷凍品）	606	99	107	108
さば（生鮮品）	462	109	117	109
するめいか（平均）	436	107	101	85
（生鮮品）	623	143	115	95
（冷凍品）	330	100	106	99
あじ（生鮮品）	715	137	113	109
まぐろ（冷凍品）	1，214	92	85	93
（めばち冷凍品）	918	99	97	108
（きはだ冷凍品）	721	106	83	111
（くろまぐろ冷凍品）	2，860	100	85	91
（みなみまぐろ冷凍品）	1，834	98	87	91
かつお（生鮮品）	1，279	155	104	109

注1：品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。
注2：3月の価格は1～20日までの速報値。平年とは平成17年～21年の加重平均値。
注3：さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。
注4：さけ・ます（平均）は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。
注5：まぐろ（冷凍品）は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先：水産庁加工流通課企画調査班
代表　03－3502－8111
内線　6617　中谷、小林
直通　03－3591－5612